

国際女性デー 人権高等弁務官が発言

2024/03/08

国連人権高等弁務官事務所

国際女性デーにあたり人権高等弁務官が発言した。内容は以下のとおり。平和や和解の交渉で、女性と少女の声は依然として周縁に留まっている。2022年に締結された和平合意18のうち、女性集団・団体の代表が署名し、または立ち会ったのは1つのみである。紛争・危機下にある国の女性が関わる団体への二国間支援はわずかである。交渉の場に女性がいて初めて永続的な平和は築かれる。国際社会はこれを直ちに実現しなければならない。我々には以下が必要である。統治制度における女性の増員、平和構築・再建政策への女性と女性の声の組み込み、女性の平和構築者・人権擁護者・団体への持続的な資金提供と支援、安全でオープンな対話の場、政治的プロセスへの女性の平等な参加、フェミニストの原則に基づいた外交政策である。そして我々は、紛争と抑圧の悪循環を克服するために、ジェンダーに基づく差別の根本原因に対処しなければならない。